

研究フォーラム

『大地震時における超高層マンションの揺れと被害－東日本大震災の経験を踏まえて－』

2011年東日本大震災時には首都圏でも長周期地震動が観測され、多数の超高層マンションでも大きな揺れや室内被害が発生した。これ以降、超高層マンションで得られた強震記録の分析や、アンケート調査による室内の被害分析が各機関で精力的に進められてきた。本会はこれらの分析結果を共有する機会にするとともに、今後大都市圏で発生が予測される大地震に対し、超高層マンションで取り組むべき具体的方策を議論する。

主催：東京理科大学

共催：日本地震工学会・工学院大学・新宿駅周辺防災対策協議会

後援：日本建築学会・日本免震構造協会・日本建築構造技術者協会・関西地震観測研究協議会

日時 2014年11月7日（金） 13:30-17:30

場所 工学院大学・3F アーバンテックホール

<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

参加費 日本地震工学会 会員、学生・1000円、非会員・2000円（資料代）

メールによる事前登録もしくは当日受付（定員 200名・先着順）

講演内容（タイトル等は予定）

13:30-13:40 開会のあいさつ（UR 田沼毅彦）

13:40-14:10 大地震時における超高層マンションの揺れ（東京理科大学 永野正行）

14:10-15:40 大地震時における超高層マンションの室内被害と対策

- ・居住者アンケート調査、室内被害と強震記録（東京理科大学 肥田剛典）
- ・被害調査、対策等（気象庁 相澤幸治）
- ・被害調査、対策等（東京消防庁 水村一明）

15:40-15:50 休憩

15:50-16:50 動特性分析、個別建物のシミュレーション解析

- ・超高層マンションの動特性分析（京都大学 上林宏敏）
- ・建物の記録分析とシミュレーション解析（戸田建設 山本健史）
- ・建物の記録分析とシミュレーション解析（鴻池組 井川望）

16:50-17:20 次の大地震への備え（招待講演、東京理科大学 北村春幸）

17:20-17:30 閉会のあいさつ（東京理科大学 永野正行）

□ F A X 送信：日本地震工学会事務局→03-5730-2830

□ E-mail：office@general.jae.gr.jp

講習会 参加申込書（平成 26 年 11 月 7 日(金)開催）			
行事名	研究フォーラム 『大地震時における超高層マンションの揺れと被害 －東日本大震災の経験を踏まえて－』		
参加者氏名 <small>(ふりがな)</small>	(複数記名可能)		
会員区分 参加費	該当箇所☑をつけてください □日本地震工学会会員（□正会員・□法人会員） <u>1,000 円</u> □学生 <u>1,000 円</u> □非会員(上記以外) <u>2,000 円</u>		
勤務先名		所属 部署	
所在地	〒		
	Tel :	FAX :	E-mail :
支払方法	当日会場でお支払い下さい		
通信欄			